

令和4年度（2022年度）第2回北海道紋別養護学校学校評議員会 議事録

1 日 時 令和4年（2022年）10月31日（月）10時30分～12時00分

2 場 所 北海道紋別養護学校運動指導室

3 出席者

(1) 学校評議員

鍋 島 博 様

小 倉 勇 様

袴 田 真 美 様

千 田 嘉 人 様

片 岡 儀 浩 様

(2) 職員

校長：山崎

教頭（北海道紋別養護学校ひまわり学園分校）：福島

事務長：西村

北海道紋別養護学校職員：佐々木、伊与木、林

4 議題

(1) 授業参観

(2) 令和4年度の教育活動について

ア 北海道紋別養護学校

イ 北海道紋別養護学校ひまわり学園分校

(3) 学校評価について

(4) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）について

(5) 評議

5 議 事

(1) 議題1 授業参観

ア 各学部の授業参観

(2) 議題2 令和4年度教育活動について

ア 教頭（福島）より、資料に基づき説明

イ 各学部主事（佐々木、伊与木、林）より、資料に基づき説明

ウ 質疑応答（有・☐無）

(3) 議題3 学校評価について

ア 教頭（福島）より、資料に基づき説明

イ 質疑応答（有・☐無）

(4) 議題4 学校運営協議会（コミュニティースクール）について

ア 教頭(福島)より、資料に基づき説明

イ 質疑応答（有・無）

(5) 評議

（評議員）授業参観で子ども達が落ち着いて先生の話の聞いている姿が見られ、日頃の指導の成果が見て取れた。特に、学部が上がる毎に子ども達が落ち着いて授業に参加していた。先生方が子どもに寄り添い、子どもの心を満たす指導ができているのだと思う。子どもは8～9割教師が手を掛けることで成長していく。ぜひ、これからも子ども達の成長できるよう指導をしてほしい。

学校評価については、学校教育目標がどのように達成されたのかを評価することが大切である。「育てたい資質・能力」がどう実現されているのかについて、ぜひ評価してほしい。学校評価は、合理的に、実践した方々で評価してほしいと願うとともに、数値の一人歩きにならないように結果について広く考察してほしい。

学校運営協議会が次年度から設置されると、現在行っている学校評議員会がなくなる。紋別地区特別支援学校の合同設置で、対象となる地域が広がるが、構成員については地に足をつけた方を選定するようお願いしたい。

（福島）学校評価については、育てたい資質・能力の達成状況についても学校評価の結果とあわせて考察したいと考えている。

（山崎）学校では、学校評価の他に年度末反省も行っている。学校評価については個人の反省、年度末反省については各分掌・各学部で行う組織の反省である。育てたい資質・能力についても、様々な評価をもとにPDCAサイクルによる改善が必要である。第3回目の学校評議員会では、育てたい資質・能力について今年度の達成状況についても説明し評議を行いたい。

学校運営協議会では、子ども達の将来を見据え在学中及び卒業後の就労や福祉に向けた取組や、SNSなどで子ども達が被害者にも加害者にもなり得る現状から在学中から防犯教育等をしっかりしていきたいという考えがあることなどを踏まえて、構成員の案を作成した。地域の方の構成員については、今後、地域資源を活用した学習を取り組みたいと考えていることから、子ども達の将来の生活に即した関わりができるように構成員についても検討を重ねていく。地域の方々の情報を大切に、地域との関わりを深くしていくためにも、いただいた意見を参考に学校運営協議会の構成員について地域色を出した構成にしていきたい。

（評議員）地域住民の立場からすると、まだまだ学校の敷居は高く、コミュニティ・スクールをとおして、学校の敷居を低くして欲しいと思う。

（評議員）学校評価については、学校の事務職員も評価するのかどうか、と思った。

授業を参観して、先生方は子ども達の相手を行いながら、本当によく周りや子ども達のことを見ていると感じた。

（山崎）事務職員も学校評価を行っている。

(評議員) 教育活動の説明であった ICT の活用について、学校在学中だけではなく子どもが卒業後の生活の場でも使えるように、ぜひ卒業後の進路先との引き継ぎなどをしていただきたい。
また、本校の説明であった非常食の試食については、大切なことだと思った。子どもが非常食を食べられるのかどうか試食してみないとわからないと思うので、良い取組だと思う。

コミュニティ・スクールについて、役職の方ばかりで構成員を構成するのではなく、ぜひ実際に活動に加わる地域の身近な方も構成員に選定されると良いと感じた。

(評議員) 何かを身に付ける、何かを学ぶということについて、手立てという部分が大事だと感じているが、今日参観した授業から、わかりやすさなど工夫している点が伝わってきた。
学校評価や学校運営協議会の説明を受け、大人の人権意識をもっと高め、さらに共生できると良いと感じた。

(評議員) 教育活動の説明で、本校では PTA 活動として花壇整備などを行っていることの説明を聞き、分校の特性上なかなか PTA 活動に取り組めていないところがあるが、今後小さなことでもいいので PTA の活動として何か取り組んでいきたいと思った。普段子どもを預けている身としても、ぜひ PTA として何らかの活動をしていきたい。
学校運営協議会の構成員については、地域に地に足を付けてという意味で、意見の言える母親を構成員として選定することについて、考えていただきたい。

(山崎) 学校運営協議会の構成員については、15 名以内という縛りがあるので、15 名以内での構成となる。母親の参加については PTA の代表の方を構成員とし、PTA 活動の中で母親の意見などを吸い上げて学校評議員会に反映させるなどしていきたい。

(6) 次回の開催について

ア 教頭(福島)から資料に基づき説明

今年度の第3回学校評議員会は、令和5年2月14日(月)10時30分より北海道紋別養護学校にて開催を予定している。

上記日程で不都合等がある場合は、各教頭まで御連絡いただきたい。

イ 質疑応答(有・☐)